

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あじさい

## 目標達成計画

作成日: 令和 6 年 2月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の方との交流が中断している状況が続いていることもあるため、今後の感染症の状況をみながら、地域の方との交流を再開する。	・地域の行事に参加をさせて頂く。 ・施設の行事に地域の方を招待させて頂く。	・地域の公園の清掃活動への参加、公園へのお散歩、近所のスーパーへの買い出しなどを通じて地域との交流ができるように取り組む。 ・感染状況が落ち着いたら、地域の行事への参加、施設の行事に地域の方をご招待する取り組みを再開する。	12ヶ月
2	13	社内研修に関して、年間でカリキュラムを作成全職員を対象にした研修制度がある。今後は研修の受講率を上げ、職員の知識の習得と技術の向上をはかることが課題。	・社内研修制度を活用し、研修受講率を高める。 ・新人職員への指導は研修内容に沿って指導を行う。	・勤務時間内または勤務時間外に職員それぞれが研修を受講しやすいようシフトの調整を行う。	12ヶ月
3	35	感染症問題が続いていることで、災害に関する近隣の方との情報交換等が困難な状況になっている。今後の状況をみながら、災害に関する協力関係を築く。	・運営推進会議の場を通して、ホームの災害対策の取り組みと課題を説明させて頂き、町内会や近隣の方に理解をして頂く所から始める。 ・地域の防災訓練に参加させて頂き、避難所、備蓄品などの情報交換や災害時の協力関係を築けるように取り組む。	・運営推進会議の場を通して、ホームの災害対策の取り組みと課題を説明させて頂き、町内会や近隣の方に理解をして頂く所から始める。 ・地域の防災訓練に参加させて頂き、避難所、備蓄品などの情報交換や災害時の協力関係を築けるように取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。